



くわがた通信



VOL. 68
2017.8.

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

～さわやかなまち並みづくり～ 不法投棄撲滅啓発パレード！

6月5日(月)午前9時30分から、富丘西宮の沢まちづくり協議会の主催により、地域の方々や手稲警察署や西清掃事務所などの行政関係者を合わせて約140名が参加して、「不法投棄撲滅啓発パレード」が行われました。

これは、富丘西宮の沢地区の不法投棄を防止しようと取り組んでおり、今年で14回目。5月9日に開催された「花苗づくり講習会」とともに、「不法投棄のないさわやかなまち並みづくり事業」の一環として実施されているものです。

パレードに先立って行われた出陣式では、武田泰明(たけだ・やすあき)会長と小林安樹(こばやし・やすき)手稲区長があいさつを行い、富丘西二町内会の佐藤八洲男(さとう・やすお)会長が、常にきれいで、住みよいまちづくりのため、不法投棄を撲滅するとともに、クリーンで快適な生活環境をつくることを力強く宣誓しました。



参加者は午前10時に富丘西宮の沢会館駐車場を出発し、パトカーの先導のもと、国道5号線、二十四軒・手稲通など地区内の約2.8キロメートルを不法投棄防止ののぼりを掲げ、道中のごみ拾いを行いながら、1時間ほどかけて行進しました。

～地区内の安全安心を目指して～ 町内会と交通安全指導員との合同懇談会

7月7日(金)午前10時から、富丘西宮の沢連合町内会連絡協議会の主催により、富丘西宮の沢地区の町内会役員と交通安全指導員との懇談会が開催されました。

懇談会には、当地区の各町内会の会長、交通安全担当部長、交通安全指導員、手稲警察署など約40名が参加し、まず、手稲区交通安全運動推進委員会の河村事務局長から、交通安全指導員の任務や街頭における交通指導の心得などについて説明をいただ



いたあと、手稲警察署交通第一課の手塚企画規制係長から、区内の交通事故の状況などについての情報提供がありました。

その後、交通安全指導員の方からの日ごろの交通安全指導に関するお話を受け、町内会の方とそれぞれの立場での活発な意見交換が行われました。

～一人暮らしのお年寄りたちが交流～ 福まち「ふれあい交流会」



7月26日（水）午前10時30分から、富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター（福まち）が主催する「ふれあい交流会」が開催されました。

この交流会は、当地区にお住いの70歳以上の一人暮らしのお年寄りが対象で、地域とのつながりを保ち、仲間づくりの場として開催されています。

会場の「ていね温泉ほのか」に集まった約70名のお年寄りたちは、手稲区保健福祉部の保健師さんたちに健康について相談したり、温泉でリラックスしたの

ち、食事をしながら歓談しました。

そのあとはゲーム大会です。今年は、テーブル単位で、事前に60種類の動物や果物などから5種目を選定し、それらを描いたカード60枚の中から、福まちのスタッフや参加者たちが1枚ずつ引き、早く5種目を当てた人たちが豪華景品をもらえるというビンゴのようなグループ競技のほか、勝ち抜きじゃんけん大会が行われ、みんなで楽しいひとときを過ごしました。



三樽別川「川と魚のふれあい広場」オープニングセレモニー

6月30日（金）午前11時から、三樽別川の富丘三樽別公園付近に整備された親水施設「川と魚のふれあい広場」で、富丘小学校と富丘連合町内会の共催により、完成オープニングセレモニーが開催されました。

この広場は、三樽別川での環境学習を取り入れている富丘小学校、河川敷の清掃活動を行っている富丘連合町内会及び富丘三樽別町内会が連名で、当河川を管理している北海道空知総合振興局札幌建設管理部に河川改良の整備を働きかけたことがきっかけとなり、平成29年3月に完成しました。

今回は、その完成を記念したオープニングセレモニーで、同校の4年生児童や同連合町内会関係者ら約130人が参加して、同広場の看板のイラストを描いた児童の紹介、代表の児童からの感謝の言葉のあと、ヤマメの稚魚約100匹が放流されました。

これから、同広場は、子どもたちの水辺環境の学習の場、地域の人たちの憩いの場として、活用されていきます。



■富丘西宮の沢地区の出来事は、まちづくりセンターのホームページでもご覧いただけます■

http://www.city.sapporo.jp/teine/machi_center/tominishi/index.html